

☆ねらい

- 単語に出会う回数が増えることで、語彙の定着を図ることができる。
- ペアでチェック・採点し、スコアやタイムを競い合うゲーム的要素を取り入れることで、前向きに単語学習に取り組むことができる。

☆扱う場面

毎授業での帯活動として学習する（授業始め5分程度）。単語を発音するステップA、単語を和訳するステップB、単語を英訳するステップCの順に3段階をそれぞれ2回、計6回行う。該当単語を扱う単元に入る1、2時間前から導入し、予習として取り組む。

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
<p><例> StepA 1回目練習></p> <p>① 全体で発音練習をする。</p> <p>② 個人で発音練習をする。</p> <p>③ 再度全体で発音練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単語一覧表を配り、1～50まで一気に発音練習を行う。 ※発音が曖昧でも、文字を見ながら聞こえたとおりに発音することに集中させる（音と文字の一致）。 ・発音できる単語に色を付けるよう指示し、50個全てに色が付いた状態を目標に練習させる。 ※発音できない単語は教師に質問、または、裏面のカタカナヘルプを利用させる。 ・質問の多かった単語、文字から発音が推測しにくい単語のみを再度練習する。
<p><StepA 1回目挑戦></p> <p>① ペアで採点用紙を交換する。</p> <p>② 先攻・後攻を決める。</p> <p>② 先攻の生徒が挑戦し、後攻の生徒は採点する（スコアとタイム記入）。</p> <p>③ 後攻の生徒が挑戦し、先攻の生徒は採点する（スコアとタイム記入）。</p> <p>④ ペアのスコア合計を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でじゃんけん、「If your hair is longer than your partner, you go first.」などの指示で先攻・後攻を決定する。 <挑戦中の約束> →挑戦者：発音できない単語は「パス」する。 →採点者：50番を終えた時点で時間が余っている場合、①曖昧な発音だった単語②パスされた単語に戻り再度考えさせる。 ・次回のStepA 2回目では、以下を目標に練習に取り組むよう指示する。 →満点だった生徒：タイムの更新 →満点ではなかった生徒：スコアの更新 ※常に「前回の自分を超越すること」を目標に取り組むことを伝える。